

# 県内企業の情報発信について

2018.01.09

TEAM ABC

16H2028 兜森佑香

16H2056 佐藤朱莉

16H2060 島田奈々

16H2122 平田佳佑

16H2141 村越涼

16H2143 森本晴樹

# 提案概要

---

青森県が人口減少を抑えるために行っている取り組みを  
より多くの人に知ってもらう必要がある

⇒SNSでとくに人気であるinstagramを利用！

- ・世界中で人気が高い
- ・写真付だから日本語が分からなくても伝わる
- ・拡散されやすい

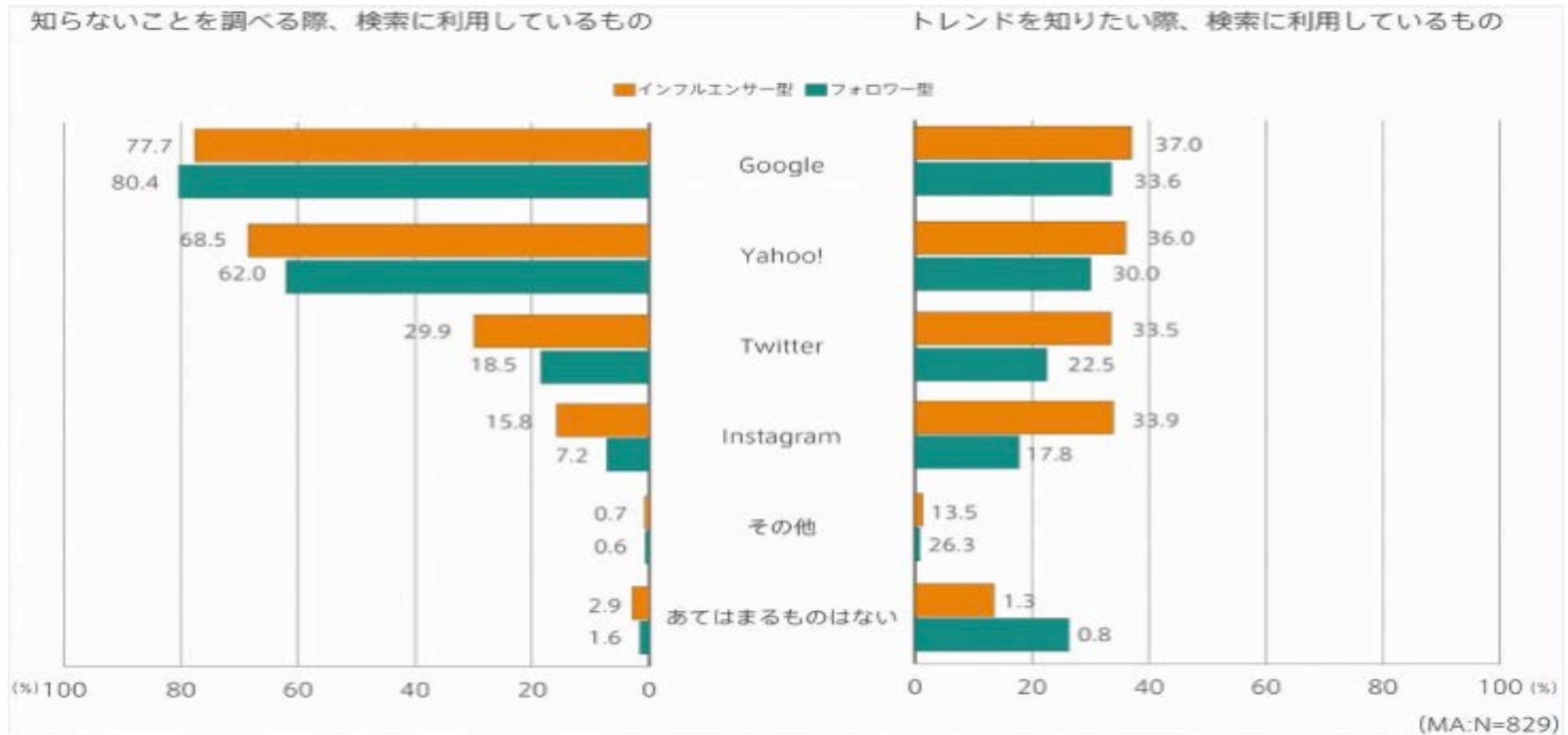
# SNSを利用した情報発信

---

県外出身・在住者を惹きつけるために、まずは青森県という場所に興味をもってもらおう

- 各種SNSを用いた情報発信やキャンペーンの発信
- 県内外の人が参加できる上に注目を浴びる
- 観光客の増加、移住検討者の増加

# 若者たちはInstagramで旅行先を決める



出典:トレンドーズ、女性のSNS利用と消費行動に関する調査 (<https://prw.kyodonews.jp/opn/release/201605110520/>)

# インバウンドにも効果あり

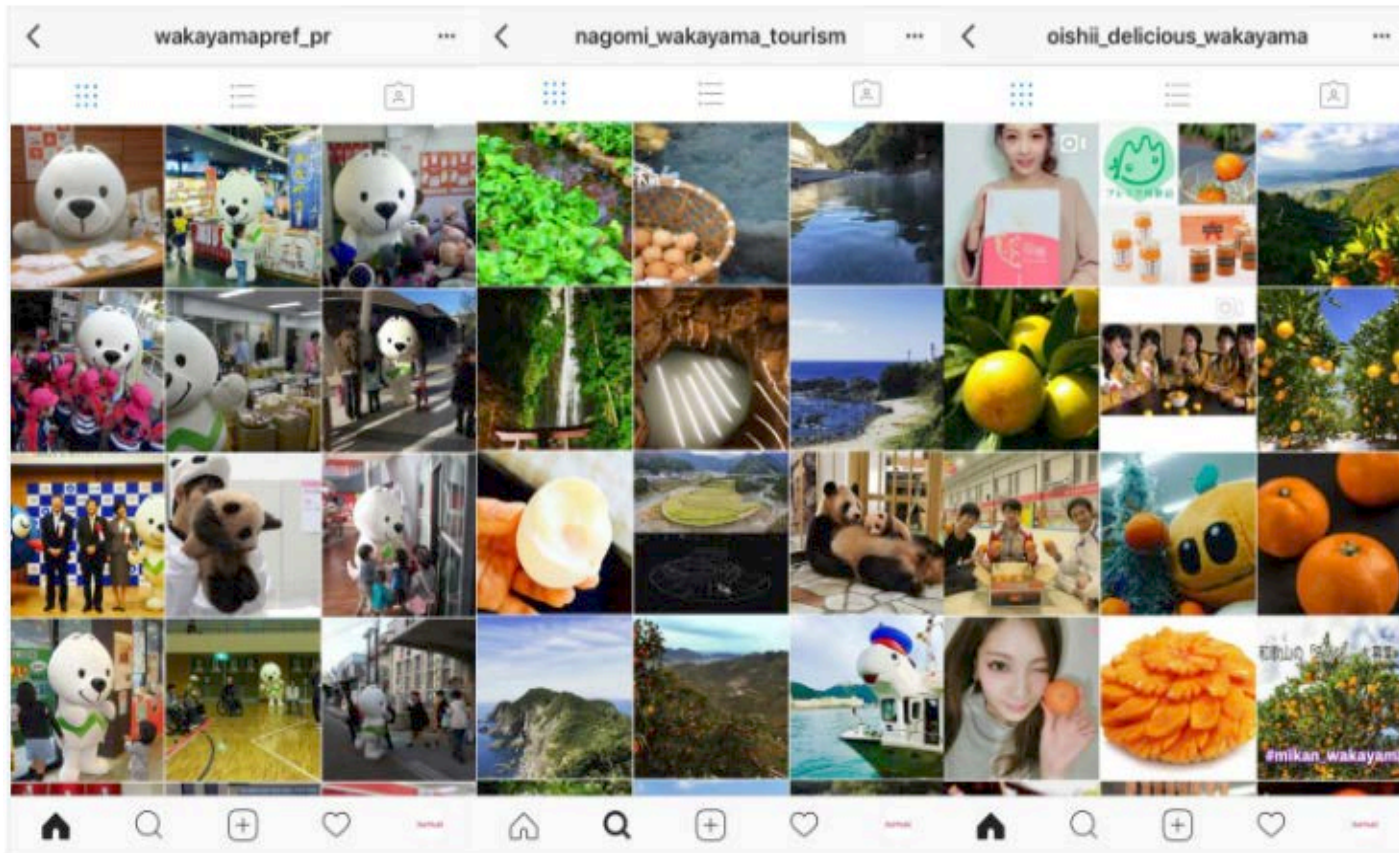
---

- ・観光地や名産品をアピールするときに、Instagramを活用する事で、「言語を問わず、世界中の人に魅力を伝えることができる」
- ・Instagramの利用者は国内で1200万人だが、世界中では5億人を超えるユーザーがいる。インバウンド需要を狙うことが大事な状況において、5億人の旅行先を決めるInstagramは活用するしかない手段であると言える。



定住者や名産品の売上、ふるさと納税額の増加も見込める。

# 事例：和歌山県の複数アカウント



・「観光振興課」「広報課」「食品流通課」がそれぞれ異なるアカウントを運営。

観光を誘致するための観光振興課のアカウント

[https://www.instagram.com/nagomi\\_wakayama\\_tourism/](https://www.instagram.com/nagomi_wakayama_tourism/)

イベント、県の政策を中心に和歌山の情報を発信する広報課のアカウント

[https://www.instagram.com/wakayamapref\\_pr/](https://www.instagram.com/wakayamapref_pr/)

和歌山県の食材を紹介する食品流通課のアカウント

[https://www.instagram.com/oishii\\_delicious\\_wakayama/](https://www.instagram.com/oishii_delicious_wakayama/)

# 事例：岐阜県のフォトコンテスト

POKA POKA  
GEROSTAGRAM

#投稿しよう #キミの #とっておき

#gerostagram  
下呂Instagram

フォトコンテスト  
開催!

投稿してくれた方の中から  
Amazonギフトコード  
5,000円・2,000円・1,000円分 プレゼント!

出典：下呂Instagramフォトコンテスト(<http://gerostagram.jp/>)

- ・公式アカウントが地方を宣伝するだけでなく、他のユーザーを巻き込んでキャンペーンを行うという手段もある。

# お得に食べよう！旅しよう！ #ハッシュタグキャンペーン

・青森県内の飲食店や観光名所の写真を特定のハッシュタグをつけて投稿すると、割引や特別なサービスを受けられるようにする。

ハッシュタグの例)

#Aomori #Nebuta #Hirosaki #Sakura





# ハッシュタグで当てよう！ インスタdeチャレンジ

- ・抽選で青森県にまつわる賞品が当たるキャンペーン
- ・応募方法はInstagramに購入した青森県内で創られた商品の写真と特定のハッシュタグをセットで投稿

ラグノオ

<http://rags.com/apple/index.html>



# 大学対抗 あおもりっていいね！コンテスト

- ・青森県内の各大学から数名の参加者を募集
- ・「青森県の魅力」、「青森県の就職先」など県が伝えたい情報をテーマにして投稿を行ってもらう。





# 3つの対案で見込める効果

手軽で誰でもできる

「若者」目線の  
情報発信ができる

報酬で  
モチベーションアップ

県の魅力に  
気づくことができる

フォロワーに広がる

# 既存政策との異同

---

## 共通点

- ・情報発信においてSNSを利用し、学生が主体のイベントを行うことで、若者目線の発信ができる点

## 異なる点

- ・Instagramという手軽で視覚的に情報発信を行えるSNSを利用し、世界中に青森県の情報発信を能動的に取り組める仕組みを構築している点

# まとめ

---

- ・SNSでもこれまで活用してきたTwitterやFacebookに加えて、Instagramという世界的にも注目を浴びているSNSを活用することで、多くの人に青森県をPRする
- ・パンフレットなどの広告とは異なり、広告費がほとんどかからず、多種多様な投稿により県が今まで気付かなかった魅力を発信できる